

「乳房増大のためのアクアフィリングの使用に関する声明」(要旨)

1 : 乳房増大にこれまで多くの注入材料が用いられてきているが、慢性炎症、異物肉芽腫によるしこり(塊)や皮膚潰瘍といった続発症をしばしば来している。これらの理由から米国 FDA (食品医薬品局) は乳房増大にフィラーを用いることを許可していない。

2 : アクアフィリング(Aquafilling)を推奨する論文に書かれている成分と韓国 FDA への申請した成分とは異なっており、アクアフィリングの主成分はかつて問題となった“Amazing Gel”あるいは“アクアミド(Aquaumid)”と呼ばれたフィラーと同じポリアクリルアミドである。

3 : 韓国 FDA (食品医薬品局) は、アクアフィリングは顔面のシワや口唇の形態や量の非対称性の一時的改善への使用のみ許可した。乳房増大術ではずっと多い注入量が必要となり、ひいては重大な続発症を生じたり、患者さんが容易でない治療を受けざるを得なくなる。アクアフィリング注入後に乳房変形を来した多くの患者さんでは、復旧できず、乳房再建術が必要になる可能性がある。

4 : 韓国乳房美容再建外科学会は、長期の安全性の十分な証拠が集積され検証されるまで、乳房増大のためのアクアフィリングの使用ははっきりと反対である。